

地域経済概況

No.630

2023年10月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【10月】

《景気判断》➡「緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を6か月連続で据え置いた
- 個別指標においては「企業の業況判断」について3か月ぶりに上方修正、その他の項目においては判断を据え置いた

(個人消費) ➡ 持ち直している	(設備投資) ➡ 持ち直している
(輸出) ➡ このところ持ち直しの動きがみられる	(生産) ➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益) ➡ 総じてみれば改善している	(企業の業況判断) ➡ 総じてみれば緩やかに改善している
(雇用情勢) ➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価) ➡ 上昇している

➡…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ➡…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【8月】
令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	103.1 (103.8)	▲0.7	96.4 (97.0)	▲4.4
出荷 (速報値)	102.8 (103.2)	▲0.3	96.8 (97.2)	▲2.8
在庫 (速報値)	105.0 (104.6)	▲1.3	105.5 (105.1)	+3.2

(経済産業省調べ)

- 8月の季節調整済指数（前月比）は生産、出荷および在庫すべてにおいて低下
- 生産で上昇した業種…食品・たばこ工業、石油・石炭製品工業、電気・情報通信機械工業ほか3業種
- 生産で低下した業種…自動車工業、化学工業（除 無機・有機化学工業）、鉄鋼・非鉄金属工業ほか7業種
- 製造工業生産予測調査によると、9月は前月比+5.8%の上昇、10月は同+3.8%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【9月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	272,208	+12.5
軽自動車販売台数	165,285	+7.9

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

9月の普通自動車等販売台数は前年同月比9か月連続の増加、軽自動車販売台数は2か月連続の増加

国内新車販売台数（軽自動車を含む）は437,478台（前年同月比+10.7%）で13か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【9月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		4,151	+9.2
主要5品目	衣料品	1,103	+9.6
	身のまわり品	720	+21.3
	雑貨	934	+11.6
	家庭用品	144	+1.3
	食品	1,004	▲0.4

(日本百貨店協会調べ)

9月の売上高は19か月連続の増加

顧客別では、国内市場は前年同月比+3.1%で19か月連続の増加、インバウンドは同+255.6で18か月連続の増加

地区別では、10都市が前年同月比+12.0%で24か月連続の増加、10都市以外が同+0.2%で3か月連続の増加

■スーパー等大型チェーン【9月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		10,708	+2.8
部門別	食料品	7,774	+4.8
	衣料品	460	▲3.5
	住関連	1,874	+2.3
	サービス	22	+6.8
	その他	577	▲14.4

(日本チェーンストア協会調べ)

総販売額は前年同月比で7か月連続の増加

依然として食料品は節約志向の高まりから買い控えが続いているが、店頭価格の上昇もあり売上は伸びた

衣料品は高気温の影響もあり季節商品の動きが鈍かったものの、住関連の動きはまずまずだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【8月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用 関係 別	総戸数	70,399	▲9.4
	持家	20,994	▲5.9
	貸家	29,364	▲6.2
	分譲住宅	19,587	▲15.5
	マンション	7,894	▲26.4
	一戸建	11,589	▲6.1

(国土交通省調べ)

8月の総戸数は3か月連続の減少

前年同月比は持家は21か月連続の減少、貸家は先月の増加から再びの減少、分譲住宅は3か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは2か月連続の減少、一戸建住宅は10か月連続の減少

地域別戸数は首都圏(前年同月比▲4.1%)、中部圏(同▲1.7%)、近畿圏(同▲18.8%)、その他地域(同▲12.6%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【9月】

		受注額(百万円)	前年同月比(%)
利用 関係 別	受注総額	133,913	▲11.2
	内需	45,017	▲14.1
	外需	88,896	▲9.7

(日本工作機械工業会調べ)

9月の受注総額は9か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を32か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【9月】

		倒産件数	負債総額
		720件	6,919億円
前月比		▲5.2%	+538.4%
前年同月比		+20.2%	+377.6%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は18か月連続で前年同月を上回った

負債総額は2か月ぶりに前年同月を上回った

新型コロナウイルス関連倒産は234件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【10月】

《総括判断》➡「生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している」

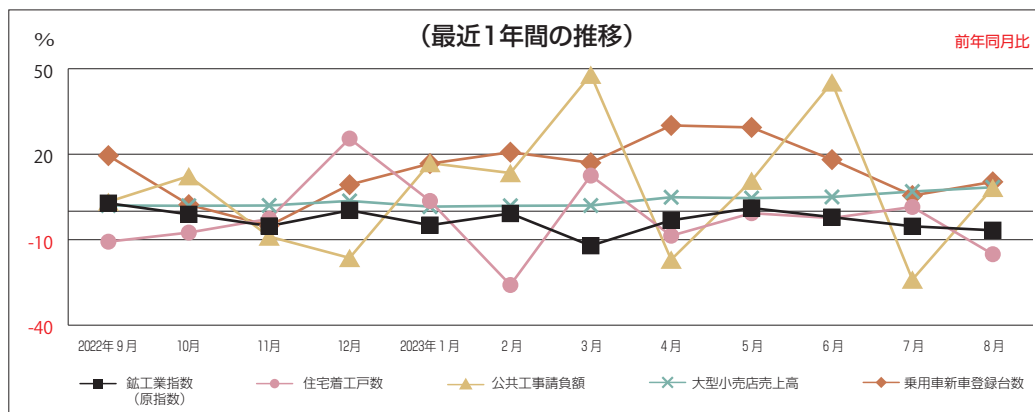
「総括判断」は前回判断を据え置いた

個別の判断はすべての項目について前回判断を据え置いた

(設備投資) ➡ 増加している	(個人消費) ➡ 緩やかに増加している
(住宅投資) ➡ 弱含んでいる	(公共投資) ➡ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ➡ 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ➡ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🟡…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



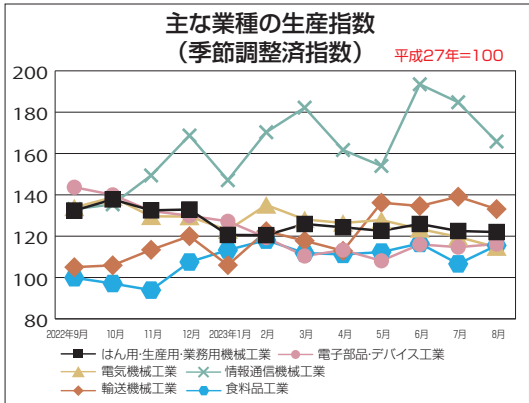
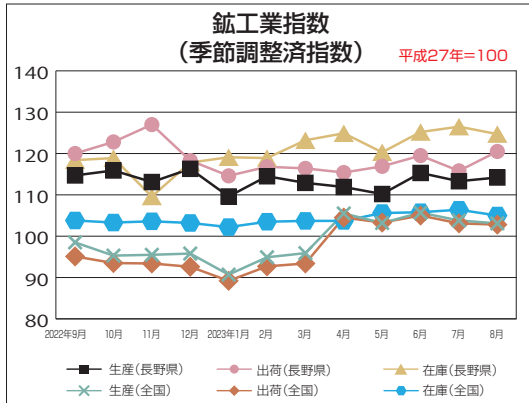
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報)【8月】 平成27年(2015年)=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	114.2 (113.1)	+1.0 (▲1.9)	104.7 (112.8)	▲6.7 (▲5.4)
出荷 (前月確報)	120.5 (115.6)	+4.2 (▲3.3)	112.4 (118.3)	▲5.5 (▲8.8)
在庫 (前月確報)	124.7 (126.5)	▲1.4 (+1.0)	122.1 (124.8)	+10.9 (+13.7)

- 前月比(季節調整済指数)で、生産および出荷は2か月ぶりの上昇、在庫は3か月ぶりの低下
- 前年同月比(原指数)で、生産は3か月連続の低下、出荷は8か月連続の低下、在庫は6か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…食品工業、金属製品工業、電子部品・デバイス工業ほか4業種
- 生産で低下した業種…情報通信機械工業、電気機械工業、輸送機械工業ほか7業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数【8月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		1,105	▲15.1
利用関係別	持家	601	▲11.0
	貸家	348	+4.2
	給与	0	皆減
	分譲	156	▲46.6

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は2か月ぶりに前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は2か月ぶりの減少、貸家は3か月連続の増加、分譲は2か月連続の減少

■公共工事動向【9月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	36	2,810
独立行政法人	2	98
県	104	4,413
市町村	170	6,023
地方公社	5	236
その他	5	377
合計	322	13,956

(東日本建設業保証調べ)

- 9月の請負件数は前年同月比▲24件、請負金額は+8.2%であった。また、請負金額の発注者別では県(前年同月比+49.5%)、国(同+13.2%)で前年同月を上回り、独立行政法人(同▲21.6%)、地方公社(同▲17.7%)、市町村(同▲7.6%)、その他(同▲27.9%)で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数【9月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	4,702	+10.3
軽自動車登録台数	4,415	+8.3
全体(二輪車を除く)	9,270	+9.0
自動車保有台数	1,895,276	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は9か月連続で増加、軽自動車は2か月連続で増加、全体では13か月連続で増加
- 2023年9月末時点における自動車保有台数内訳…登録車949,296台(前年同月比▲0.3%)、軽自動車907,766台(同+0.9%)、二輪車38,214台(同+2.6%)

■大型小売店売上高【8月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		24,423	+8.4
内訳	食品	21,343	+8.9
	衣料品	918	+10.2
	雑貨・その他	2,162	+2.9

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は23か月連続で前年同月を上回った
- 食品は、猛暑が続いたことで飲料や総菜などが好調だったほか、販売価格の上昇などもあり前年同月を上回った
- 衣料品は、来店客数が増加したほか夏物が好調で前年同月を上回り、雑貨・その他は、身の回り品や化粧品売り上げが増加した

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【8月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.44倍	+0.01pt
全国	1.29倍	±0.00pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【8月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	15,539人	▲8.3%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【8月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	6,289人	+0.4%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.15ポイント上回り、全国順位は11位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人人数(季節調整値)は46,133人で前月比+0.3%の増加、有効求職者数は31,996人で同▲0.6%の減少

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は3,971人(前年同月比▲0.7%)、パートは2,300人(同+1.9%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【9月】

	倒産件数	負債総額
	7件	628百万円
前月比	▲30.0%	▲92.4%
前年同月比	+75.0%	+220.4%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では北信、中信、南信がそれぞれ2件、東信が1件

☞ 業種別では農・林・漁・鉱業、建設業、印刷・同関連業、不動産業、宿泊業、生活関連サービス業・娯楽業、他のサービス業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は3件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

共同店舗化のお知らせ

「競争から共創へ」

❖ 八十二銀行 ❖ 長野銀行

- ・長野銀行および八十二銀行の両行で初となる共同店舗の営業を開始いたします。
- ・2024年2月19日～ 「長野銀行東京支店」を「八十二銀行東京営業部」内へ移転。
- ・2024年5月27日～ 「八十二銀行信州大学前支店」を「長野銀行松本北支店」内へ移転。
- ・現「八十二銀行信州大学前支店」に設置のATMは、当面の間、引き続きご利用いただけます。



共同店舗について

同一店舗内に両行の支店窓口を共存のうえ、ロビーや執務スペースを共有して運営する店舗です。今回の共同店舗化に伴う業務内容の変更はございません。